

## 令和2年度 全国健康保険協会岩手支部第3回評議会 議事概要

【開催日時】 令和2年12月14日（月）15：00～16：30

【開催場所】 朝日生命盛岡中央通ビル2階 B会議室

【出席者】 浅沼隆 小澤昭彦 熊谷敏裕 熊谷英典 佐藤伸一  
菅原和彦 田口斉 藤村文昭（五十音順、敬省略）

### 【議事】

- ・議長、副議長の選出について
- ・議題1 保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要（案）及び令和3年度事業計画（案）について
- ・議題2 インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等及び令和元年度実績（確定値）について
- ・議題3 その他報告事項
  - ①令和3年度保険料率について（各支部評議会における主な意見）
  - ②第6回協会けんぽ健康川柳コンクールの実施について
  - ③令和2年度健康保険委員アンケート実施結果について

### 【議事の経過】

支部長挨拶後、本年11月1日付での評議員の変更に伴い、全国健康保険協会評議会規定第5条第1項に基づき議長を互選により選任し、小澤評議員が議長に選任されました。また、同規定同条第2項に基づき、議長が欠けた時にその職務を行う評議員（副議長）に菅原評議員が指名され、選任されました。

その後、各議題について協会より説明を行い、その後出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。

### （1）保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要（案）及び令和3年度事業計画（案）について

#### 【学識経験者】

戦略的保険者機能関係の中に加入者の健康度の向上とあるが、健康度とはどのようなものか。効果を測定する具体的な指標はあるか。

#### <事務局>

コラボヘルス事業の中で健診結果データを活用した資料の提供を行っている。高血圧等のリスク保有者割合などの経年変化といった事業所の健康度を事業主、加入者へ周知し、リスク保有者を減少させることを一つの指標としている。

**【被保険者代表】**

マイナンバーカードを利用し、医療機関を受診するためには医療機関側の体制整備も必要と思われるが、協会けんぽとしていつまでに体制を整備し、普及させていくか、定期的な目安はあるか。

<事務局>

協会としてマイナンバーの普及、カードリーダーを医療機関に普及させることについて、現時点で明確な目標は示されていない。また、電子承認システムを使用するにあたり 1 件当たり 2 円の費用が発生するが、その費用を保険者が負担することについて加入者の理解を得ることは難しいと考えている。

**【事業主代表】**

レセプトの内容点検に係る査定率について、医療機関の誤りが多いと査定率も高くなると思われるが、目標値が高いか低いかが見えづらい。岩手支部の状況はどうか。

<事務局>

査定率は全国でばらつきがあり、岩手支部単独では全国でも上位に位置しているが、社会保険診療報酬支払基金と合算した査定率で目標を設定することになる。目標値や岩手支部の事業計画については、次回評議会でお示しする。

**【学識経験者】**

傷病手当金等の迅速な給付は今後も継続して取組みを進めていただきたい。また、申請書の記入方法等を周知することで、不備も少なくなると思われるので、広報についても継続して実施していただきたい。

**【学識経験者】**

岩手支部の事業計画は次回評議会でお示しするとのことだが、協会全体の事業計画に沿った形で作成がされているか等、今回の議論を基に意見するという認識でよいか。

<事務局>

ご指摘のとおり。今回は第 5 期アクションプランの概要と協会全体の事業計画の全体像についての説明であり、岩手支部の事業計画については次回評議会でご議論いただきたい。

**(2) インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法及び令和元年度実績（確定値）について**

**【被保険者代表】**

特定健診の実施率が全国と比べて高くなっているが、特定保健指導の実施率は低くなっている。要因の把握は行っているか。

<事務局>

相関関係として特定健診実施率が伸びると特定保健指導の対象者も増えてくる。増えた分だけ特定保健指導の実施を強化していく必要があるが、岩手支部の現状として保健師の数が足りていない状況もあり、健診日当日の保健指導が実施できるように健診機関への外部委託を進めているところ。また、特定保健指導の受け入れについて、事業所を訪問し要請を行っているが、例えば建設業だと現場で働いている従業員も多く、受け入れを拒否される場合が多い。

**【学識経験者】**

インセンティブ制度は、後期高齢者支援金の保険料率の中に財源として各支部が負担した保険料率を加えたうえで、上位の支部に報奨金を与え、保険料率を引き下げる仕組みとの理解でよいか。

<事務局>

そのとおり。

**【学識経験者】**

事業所の対場でいうと従業員が病気にかかり働けなくなった場合のコストを考えると、病気の予防というのは非常に重要。コスト面で健診や特定保健指導についてアプローチする方法を検討してはどうか。

<事務局>

今後検討していきたい。

**【事業主代表】**

金額的なものが分かれば事業主の理解も進むのではないか。

**(3) その他報告事項**

**①協会けんぽの保険料率について（各支部評議会における主な意見）**

**【被保険者代表】**

保険料率について、最高値、最低値を教えてほしい。また岩手支部の順位は。

<事務局>

令和2年度においては、佐賀支部が10.73%と全国で最も高く、9.58%の新潟支部が最も低い状況であった。岩手支部は全国で低いほうから7番目の保険料率となっている。

②第6回協会けんぽ健康川柳コンクールの実施について、③令和2年度健康保険委員アンケート実施結果については、意見等なし。